

高知県感染症発生動向調査(週報)

2010年第41週[10月11日～10月17日]

高知県衛生研究所 高知県感染症情報センター
 TEL:088-821-4961 FAX:088-825-2869
<http://www.kenkou.med.pref.kochi.lg.jp/eiken/>

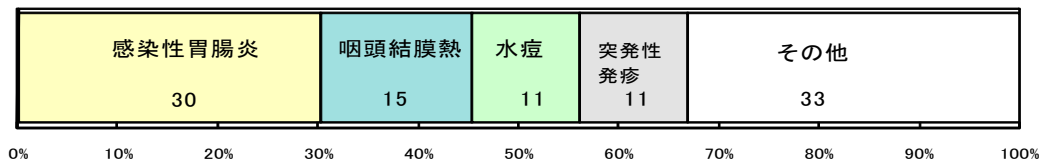
県内情報

○ 患者情報総評

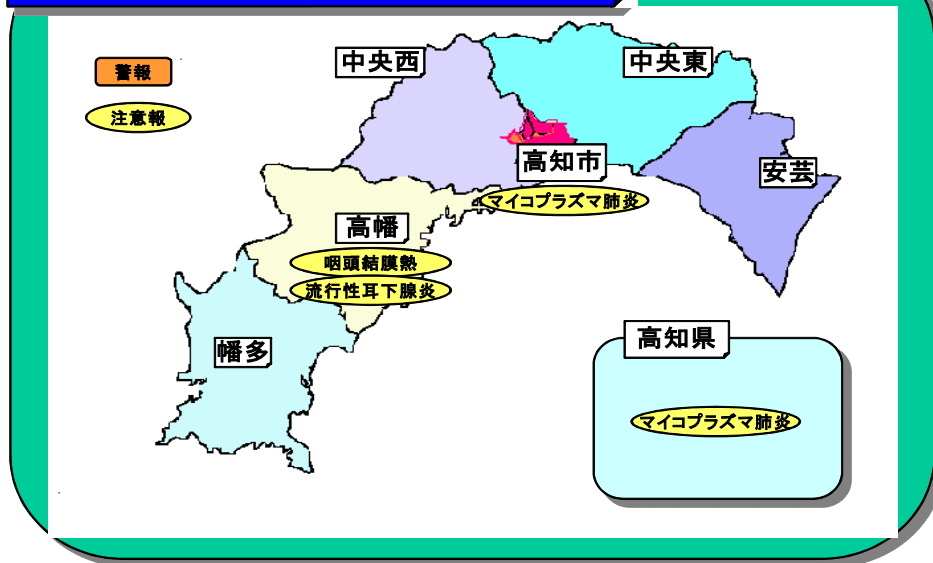
注意報発令疾患：マイコプラズマ肺炎

- ・ 今週は晴れの日が多く朝晩は少し寒さを感じたが、日中はむし暑い日が多かった。
 10月～11月の初旬は、インフルエンザや感染性胃腸炎などの冬型疾患への移行の時期であり、流行のみられる疾患はなく、感染症は全体的に落ち着きをみせている。
- ・ 咽頭結膜熱（高幡：注意報→注意報）は減少したが、まだ注意報値を超える地域がみられる。

上位疾患構成図

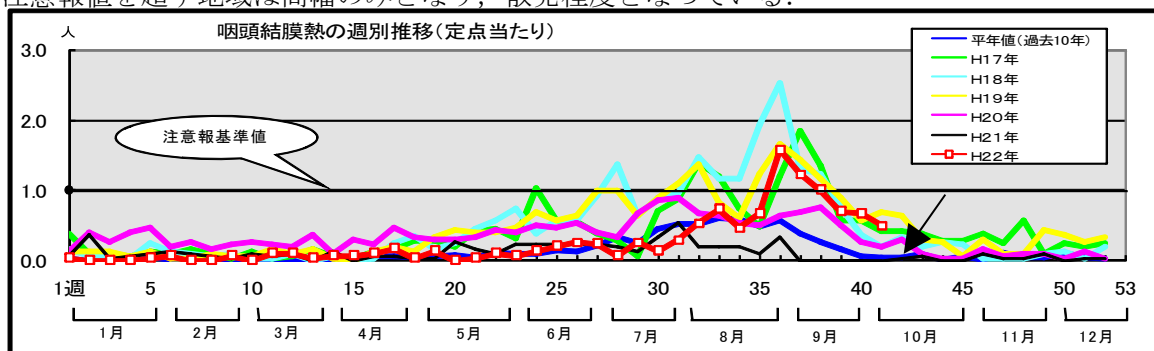


地域別感染症注意報・警報発生状況 第41報 (2010年10月11日～2010年10月17日)



咽頭結膜熱：今週0.50 (注意報値：1.00 警報値：3.00)

注意報値を超える地域は高幡のみとなり、散発程度となっている。



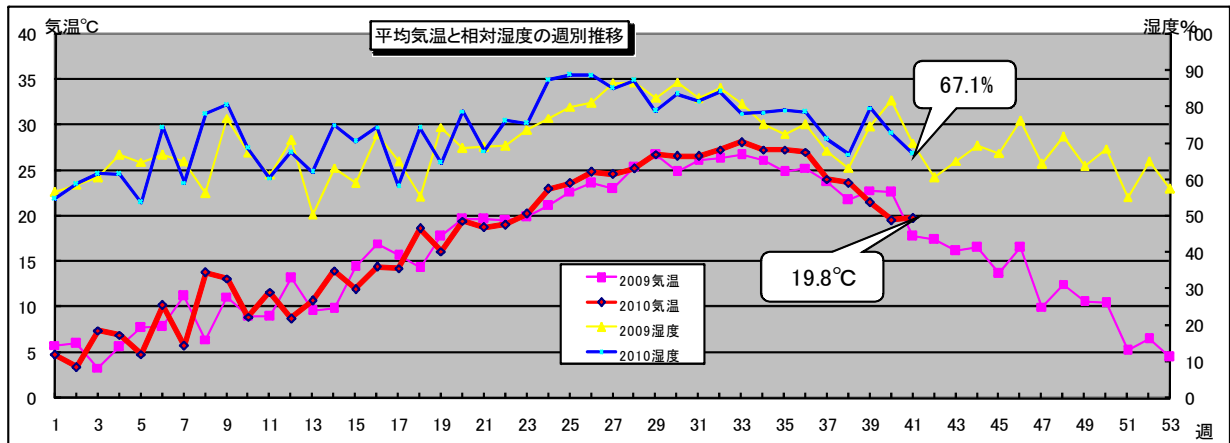
○ 検査情報

週	臨床診断名	患者	地域	ウイルス, 細菌の検出状況
22	咽頭結膜熱	2歳 男	高幡	Enterovirus-NT
24	感染性胃腸炎	1歳 男	高知市	Enterovirus-NT
27	ヘルパンギーナ	1歳 女	高幡	Coxsackievirus A2
28	気管支喘息・気管支炎	2歳 女	中央東	Enterovirus-NT
28	ヘルパンギーナ	1歳 女	高幡	Coxsackievirus A2
29	ヘルパンギーナ・無菌性髄膜炎・脳炎・脳症	2歳 女	中央東	Coxsackievirus A4
29	ヘルパンギーナ	1歳 男	高幡	Coxsackievirus A2
30	ヘルパンギーナ	3歳 男	高幡	Coxsackievirus A2
31	ヘルパンギーナ	1歳 女	高幡	Coxsackievirus A4
31	ヘルパンギーナ	2歳 男	高幡	Coxsackievirus A4
31	ヘルパンギーナ	1歳 女	高幡	Coxsackievirus A2
35	感染性胃腸炎	1歳 男	中央東	Parechovirus 1

○ 全数報告の感染症情報

2類感染症：結核 3例 (66歳女)《高知市》, (88歳女)《中央東》, (83歳女)《幡多》
(今年127例)

○ 高知県の平均気温と湿度 (週別)



○ 定点からの地域ホット情報

幡多：

《さたけ小児科》：マイコプラズマ肺炎 2例 (11歳男, 33歳女)

高幡：

《もりはた小児科》：アデノウイルス感染症が続く。
全体に落ち着いている。

中央西：

《石黒小児科》：带状疱疹 1例 (15歳女)
《くぼたこどもクリニック》：マイコプラズマ肺炎 2例 (7歳女)
口唇ヘルペス 1例 (12歳男)
感染性胃腸炎 1例 (10ヵ月女：高知市)
ヘルパンギーナ 1例 (4歳男：須崎市)

高知市：

《けら小児科・アレルギー科》：咽頭結膜熱の5例 (1~4歳男女) はアデノウイルス陽性
マイコプラズマ肺炎 2例 (5歳女, 7歳男)
百日咳 1例 (38歳女：東浜株1280倍, 山口株160倍)

《福井小児科・内科・循環器科》：咽頭結膜熱の2例 (3歳男, 10歳男) はアデノウイルス陽性

中央東：

《あけぼの小児科クリニック》：マイコプラズマ肺炎 2例 (4歳女, 10歳男)
《早明浦病院小児科》：水痘が土佐町の保育園で流行中
マイコプラズマ肺炎 1例 (9歳女：マイコプラズマ抗体価 1280倍)

2類感染症：結核314例

3類感染症：コレラ1例、細菌性赤痢11例、腸管出血性大腸菌感染症95例（有症者65例、うちHUS 1例）

4類感染症：A型肝炎1例、デング熱9例、日本紅斑熱1例、レジオネラ症10例、レプトスピラ症1例

5類感染症：アメーバ赤痢10例、ウイルス性肝炎2例、急性脳炎5例、後天性免疫不全症候群15例（AIDS 2例、無症候11、その他2例）、梅毒9例、風しん1例、麻しん9例

2010年第38週までに診断されたものの報告遅れとして、細菌性赤痢1例、デング熱1例、日本紅斑熱3例、マラリア1例、レプトスピラ症3例、急性脳炎2例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例、後天性免疫不全症候群2例などの報告があった。

◆流行性耳下腺炎

流行性耳下腺炎（mumps：ムンプス）は、ムンプスウイルスの感染を原因として発症する感染症である。2～3週間の潜伏期（平均18日前後）を経て発症し、片側あるいは両側性の唾液腺（耳下腺が最も多い）のびまん性腫脹、疼痛、発熱を主症状とし、2～7歳の小児に好発する。不顕性感染が3分の1程度認められ、発症しても、通常は1～2週間で軽快する予後良好の疾患であるが、症状の明らかな例の10%に出現すると推定されている無菌性髄膜炎をはじめ、髄膜炎、難聴、睾丸炎、卵巣炎、膵炎等の種々の合併症を起こす場合がある。感染経路はヒト-ヒト間の飛沫感染、接触感染であり、特に保育施設等、ムンプスウイルスに免疫を持たない乳幼児の集団生活施設では、しばしば集団発症が認められている。また成人での発症例では、髄膜炎、精巣炎、熱性痙攣、難聴、膵炎などの合併症によって入院を要する例が比較的多い。感染症発生動向調査では、全国約3,000カ所の小児科定点からの報告数に基づいて流行性耳下腺炎をはじめとする各種小児科疾患の発生動向の分析を行っている。2010年第39週の定点当たり報告数は1.13（報告数3,418）と前週（第38週）の定点当たり報告数（0.97）よりも増加した。過去3年間の同時期の定点当たり報告数（2007年は0.27、2008年は0.41、2009年は0.54）を大きく上回っている状態が続いている。都道府県別では島根県（3.43）、宮崎県（3.11）、和歌山県（2.65）、新潟県（2.31）、富山県（2.31）、香川県（2.21）、山口県（2.18）、熊本県（2.08）の順となっている。2010年第1～39週の定点当たり累積報告数は44.29（累積報告数134,061）であり、既に2007年、2008年、2009年の過去3年間の年間の定点当たり累積報告数を大きく上回っている。年齢群別では4～5歳33.5%、2～3歳21.8%、6～7歳21.7%、8～9歳9.9%の順となっている。7歳以下で全報告数の80%以上を占めているのは例年と同様である。1982年以降の流行性耳下腺炎の週別定点当たり報告数の推移をみると、流行性耳下腺炎は3～4年周期で大きな流行が訪れていたが、1989年のMMRワクチンの導入により周期が4～5年に延長し、その流行規模も縮小傾向を示していた。しかし、その後のMMRワクチンの中止とムンプス関連ワクチンの接種率の低下により、流行性耳下腺炎の流行は再び増大傾向となり、最近では流行の周期は4年となってきた。2010年は過去3年間よりも患者発生数が大きく増加した状態が続いており、この傾向は2011年の春季頃までは継続することが予想される。また、夏季休暇の影響によって一旦は報告数の減少がみられたが、今後秋季から冬季にかけて再び増加してくるものと思われる。今後とも本疾患の流行状況、発生動向には注意が必要である

◆インフルエンザウイルス2010/11シーズン

AH1pdmは2010年第4週以降減少し、第12週以降は少数の報告となっている。第28週以降、AH3亜型の報告数がAH1pdmを上回っている。直近の2010年第35～39週の5週間ではAH1pdmが10県から43件[茨城県10件、沖縄県9件、福島県5件、千葉県、神奈川県各4件、静岡県、奈良県各3件、長野県、宮崎県各2件、福岡県1件]、AH3亜型が16都県から72件（沖縄県16件、千葉県9件、奈良県8件、熊本県7件、神奈川県6件、茨城県5件、愛媛県4件、栃木県、三重県、山口県各3件、和歌山県、福岡県各2件、青森県、東京都、新潟県、広島県各1件）、B型はビクトリア系統株が5県から5件（埼玉県、千葉県、静岡県、広島県、沖縄県各1件）、系統不明株が千葉県から2件報告されている。AH1pdm（43件）は分離・検出例全体（122件）の35%を占めている。このうち、輸入例からの分離・検出が12件（AH1pdm 5件、AH3亜型6件、B型ビクトリア系統株1件）報告されている。

インフルエンザウイルス分離・検出速報は<http://idsc.nih.go.jp/iasr/influ.html> を参照ください。

高知県感染症情報 (58 定点医療機関)

第41週 平成22年10月11日(月)～平成22年10月17日(日)

高知県衛生研究所

定点名	医療圏 疾病名	安芸 医療圏	中央医療圏			高幡 医療圏	幡多 医療圏	計	前週	全国(40週)	高知県(41週末累計) H22/1/4～H22/10/17	全国(40週末累計) H22/1/4～H22/10/10	
			中央東	高知市	中央西								
内科・小児科	インフルエンザ			1				1 (0.02)	2 (0.04)	537 (0.11)	2,555 (53.23)	225,795 (47.36)	
小児科	咽頭結膜熱	1		10	1	3		15 (0.50)	20 (0.67)	591 (0.20)	326 (10.87)	29,139 (9.63)	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2	5	7	1			15 (0.50)	10 (0.33)	2,580 (0.86)	833 (27.77)	146,347 (48.36)	
	感染性胃腸炎	5	8	17	8		4	42 (1.40)	49 (1.63)	9,746 (3.25)	7,551 (251.70)	861,694 (284.76)	
	水痘	2	10	6	1		2	21 (0.70)	14 (0.47)	1,724 (0.57)	1,644 (54.80)	176,063 (58.18)	
	手足口病			4				4 (0.13)	4 (0.13)	1,463 (0.49)	3,220 (107.33)	140,384 (46.39)	
	伝染性紅斑		1	2	1			4 (0.13)	2 (0.07)	777 (0.26)	220 (7.33)	35,434 (11.71)	
	突発性発疹	1	1	6	3		1	12 (0.40)	13 (0.43)	1,855 (0.62)	510 (17.00)	71,359 (23.58)	
	百日咳		1	1				2 (0.07)	1 (0.03)	89 (0.03)	66 (2.20)	4,401 (1.45)	
	ヘルパンギーナ			2	1			3 (0.10)	4 (0.13)	523 (0.17)	1,020 (34.00)	136,874 (45.23)	
	流行性耳下腺炎			3		3	1	7 (0.23)	2 (0.07)	3,159 (1.05)	202 (6.73)	137,230 (45.35)	
	RSウイルス感染症		1	5			1	7 (0.23)	6 (0.20)	1,057 (0.35)	774 (25.80)	50,992 (16.85)	
	眼科	急性出血性結膜炎								0.00	14 (0.02)	2 (0.67)	482 (0.71)
		流行性角結膜炎			1				1 (0.33)	2 (0.67)	446 (0.66)	66 (22.00)	16,478 (24.30)
	基幹	細菌性髄膜炎								0.00	4 (0.01)	11 (1.57)	369 (0.80)
無菌性髄膜炎									0.00	16 (0.04)	17 (2.43)	668 (1.45)	
マイコプラズマ肺炎				5				5 (0.71)	3 (0.43)	254 (0.56)	60 (8.57)	6,929 (15.00)	
クラミジア肺炎 (オウム病は除く)										13 (0.03)	22 (3.14)	477 (1.03)	
計 (小児科定点当たり人数)		11 (5.50)	27 (3.86)	70 (5.79)	16 (5.33)	6 (3.00)	9 (1.80)	139 (4.42)					
前週 (小児科定点当たり人数)		10 (5.00)	17 (2.43)	65 (5.40)	20 (6.67)	7 (3.50)	13 (2.60)		132 (4.21)	24,848	19,099 (598.76)	2,041,115	

注 () は定点当たり人数。

高知県感染症情報 (58 定点医療機関) 定点当たり人数

定点当たり

第41週

定点名	医療圏 疾病名	安芸 医療圏	中央医療圏			高幡 医療圏	幡多 医療圏	計	前週	全国(40週)	高知県(41週末累計) H22/1/4～H22/10/17	全国(40週末累計) H22/1/4～H22/10/10	
			中央東	高知市	中央西								
内科・小児科	インフルエンザ			0.06				0.02	0.04	0.11	53.23	47.36	
小児科	咽頭結膜熱	0.50		0.91	0.33	1.50		0.50	0.67	0.20	10.87	9.63	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.00	0.71	0.64	0.33			0.50	0.33	0.86	27.77	48.36	
	感染性胃腸炎	2.50	1.14	1.55	2.67		0.80	1.40	1.63	3.25	251.70	284.76	
	水痘	1.00	1.43	0.55	0.33		0.40	0.70	0.47	0.57	54.80	58.18	
	手足口病			0.36				0.13	0.13	0.49	107.33	46.39	
	伝染性紅斑		0.14	0.18	0.33			0.13	0.07	0.26	7.33	11.71	
	突発性発疹	0.50	0.14	0.55	1.00		0.20	0.40	0.43	0.62	17.00	23.58	
	百日咳		0.14	0.09				0.07	0.03	0.03	2.20	1.45	
	ヘルパンギーナ			0.18	0.33			0.10	0.13	0.17	34.00	45.23	
	流行性耳下腺炎			0.27		1.50	0.20	0.23	0.07	1.05	6.73	45.35	
	RSウイルス感染症		0.14	0.45			0.20	0.23	0.20	0.35	25.80	16.85	
	眼科	急性出血性結膜炎									0.02	0.67	0.71
		流行性角結膜炎			1.00				0.33	0.67	0.66	22.00	24.30
	基幹	細菌性髄膜炎									0.01	1.57	0.80
無菌性髄膜炎										0.04	2.43	1.45	
マイコプラズマ肺炎				1.00				0.71	0.43	0.56	8.57	15.00	
クラミジア肺炎 (オウム病は除く)										0.03	3.14	1.03	
計 (小児科定点当たり人数)		5.50	3.86	5.79	5.33	3.00	1.80	4.42					
前週 (小児科定点当たり人数)		5.00	2.43	5.40	6.67	3.50	2.60		4.21		598.76		

2010年週報推移(定点当たり)

